

俳句ポスト 春の部 特選句

森悦子選(白山市俳句協会)

朝市の媪の髪に春の雪	美沢野町	永盛 富佐恵
轆轤師のうすき座布団寒に入る	能美市	北野 忠男
初諷経傘寿となりし背を正す	金沢市	出戸 京子
霊峰のぐつと近づく深雪晴	富山県	中河 照子
捨雪にうもる門川夕暮るる	金沢市	羽柴 瑞枝
笹子鳴く方三尺の氷室跡	福井県	畑野 圭子
箔打ちの手元に残る余寒かな	野々市市	藤谷 幸恵
ホルン吹く少年像や春隣	富山県	山下 しのぶ
梁の太き宿坊虎落笛	東京都	井澤 勝代
剃り跡の青き雲水寒の入り	中町	佃 久美子
菜の花や大河ゆるりと蛇行せり	東京都	右田 俊郎
店先に干しある和傘風光る	八ツ矢町	門田 いく江
窯出しの弾む心や風光る	福井県	木幡 嘉子
船頭の竿のゆるりと花の昼	徳島県	中村 晴江
海底に落とす舟影若布刈	兵庫県	山本 肇
匂ひ立つ栢野峠のよもぎ餅	深瀬新町	大野 末子
波頭しずかに寄する彼岸かな	相川町	松田 千代子
蓮如忌や御坊へ濃山吹のみち	兵庫県	ぐずみ
カヌー漕ぐ声を遙かに草若葉	金沢市	今村 征一
城跡の空壕深き竹の秋	神奈川県	さくらんぼ

選者吟

青空の封を切つたる初燕

悦子

〈平成30年2月～4月 投句者数 402人、投句数 1771句〉